

2014年3月17日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

野村アセットマネジメント、第5回「NISAに関する意識調査」結果を発表

～認知率は78%に上昇。NISA口座開設申請者の39%が投資を開始～

野村アセットマネジメント株式会社（CEO兼執行役会長兼社長：岩崎俊博）は、2014年1月から始まった少額投資非課税制度（以下「NISA」）に関する認知や利用意向などについて、2月上旬に4万人を対象に実施したインターネット調査の結果を公表した。

本調査は、昨年3月、7月および10月に実施した「NISAに関する意識調査」に続いて行ったもので、投資家のNISAに関する意識の変化を継続的に調査・分析している。なお、1月には第4回調査として、NISAに関心がある投資未経験者を対象にグループ・インタビュー調査を実施している。

主な調査結果は以下のとおりである。

NISAに対する認知

NISAに関する認知率は、3月調査の22%、7月調査の40%、10月調査の65%から78%に上昇。

利用意向

NISAの利用意向率は10月調査の18%から26%に上昇した。一方、検討者は16%から13%に低下し、「利用を考えていない」という非意向者の割合は61%と、調査開始以来6割程度で変わらない。

NISA口座開設者の投資実行状況

NISA口座の開設申請割合は全体の18%。そのうちの39%がすでに投資を始めており、投資実行者の51%は60歳以上のシニア層である。既存投資家が9割を占め、株式・投信を保有していない投資未経験者は1割に留まる。

投資意向額

利用意向者の投資意向額は、初年度68万円、5年間累計は295万円。10月調査（73万円、318万円）からともに水準が低下している。

毎月積立投資の意向

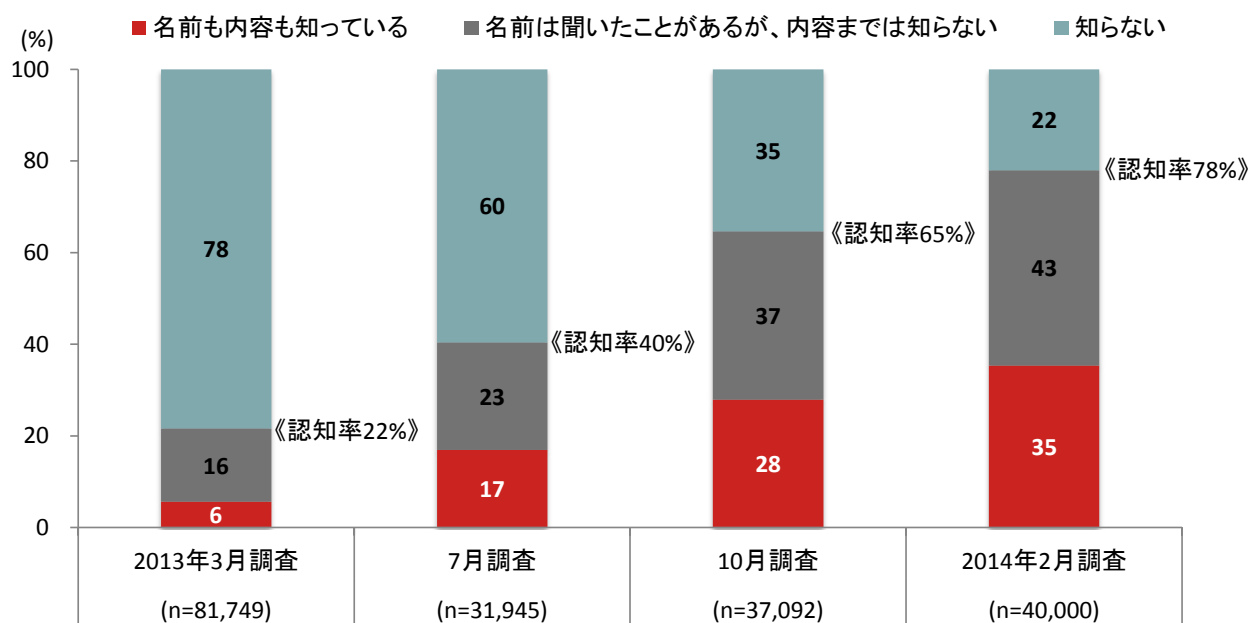
NISA口座で、毎月積立投資を意向している割合は4割である。年代別にみると、20代・30代では6割程度と高い一方、シニア層では一括投資が7割を占めている。資産形成層のNISA利用の拡大に応じて、毎月積立投資が広がる可能性もある。

【調査結果】

NISAに対する認知

NISAに関する認知状況をみると、「知っている」と答えた割合は、約1年前の昨年3月の22%から、2月には78%まで上昇した。「名前も内容も知っている」と答えた割合は前回10月の28%から35%に上昇しており、制度が始まったこともあり、さらに認知が広がった。

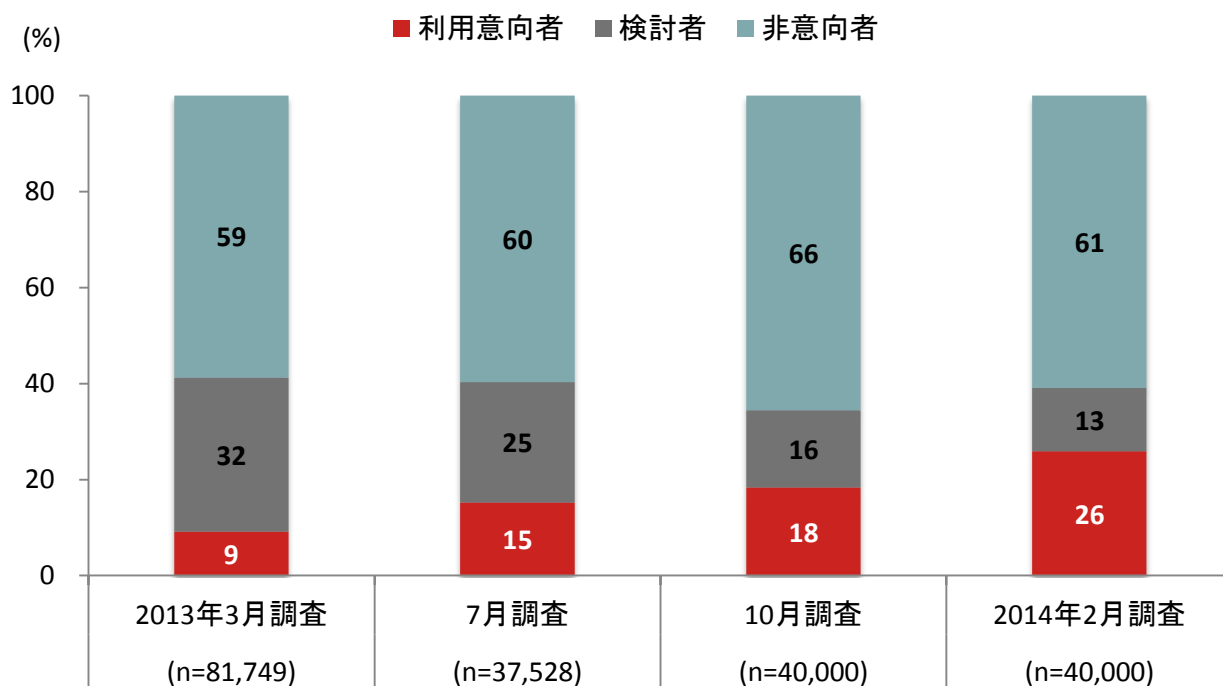
Q) あなたは、NISAについて、ご存知ですか。(n=40,000)



利用意向

NISAの利用意向率は、昨年3月の9%から今回2月は26%にまで上昇し、全体の1/4に達した。しかし、検討者は10月の16%から13%に低下し、「利用を考えていない」という非意向者の割合は61%と、調査開始以来6割程度で変わらない。投資経験層を中心にNISAの利用意向は高まっているが、投資未経験者への普及は今後の課題と言えよう。

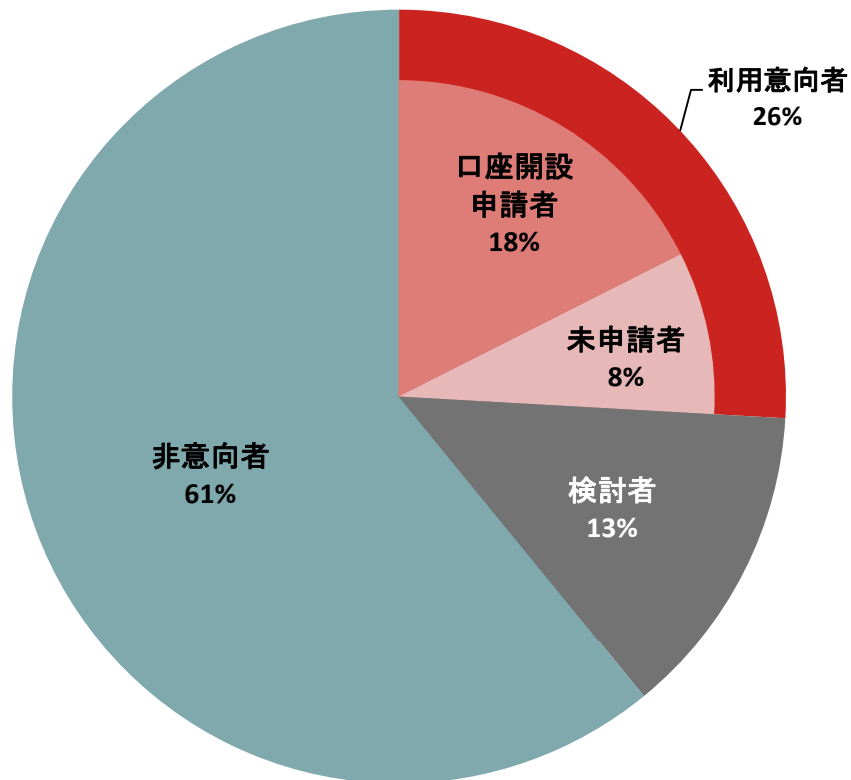
Q) あなたは、NISAについて利用したいですか。(n=40,000)



NISA口座開設申請状況

NISA口座の開設申請状況を見ると、全体の18%がすでに口座を開設している。利用意向者のうち未申請の割合は8%となり、利用意向者では口座開設申請は着実に進んでいる。

Q)あなたは、NISAについて利用したいですか。またすでに非課税口座開設届出書などを金融機関に提出し、NISA口座開設の申し込みを済ませていますか。(n=40,000)

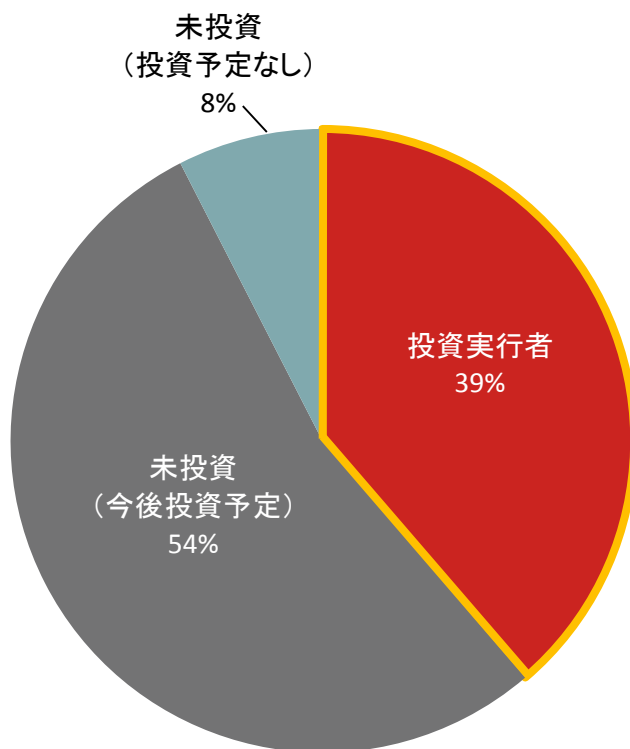


NISA口座における投資実行状況

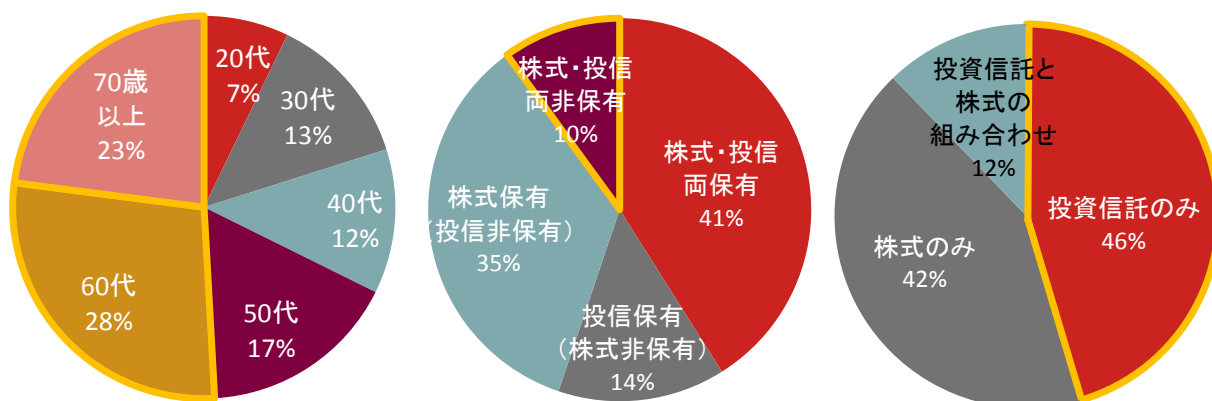
NISA口座開設申請者のうち、39%が投資をすでに始めており、投資実行者の51%は60歳以上のシニア層である。既存投資家が9割を占めており、株式・投信を持っていない投資未経験者は1割に留まる。NISA口座で投資した商品は、株式のみが42%、投資信託のみが46%と、投資信託が多い結果となった。

Q)すでに非課税口座開設届出書などを金融機関に提出し、NISA口座開設の申し込みを済ませていますか。またNISA口座ですでに投資を行っていますか。(NISA口座開設申請者 n=7,024)

【NISA口座開設申請者における投資実行状況】



【投資実行者における属性】

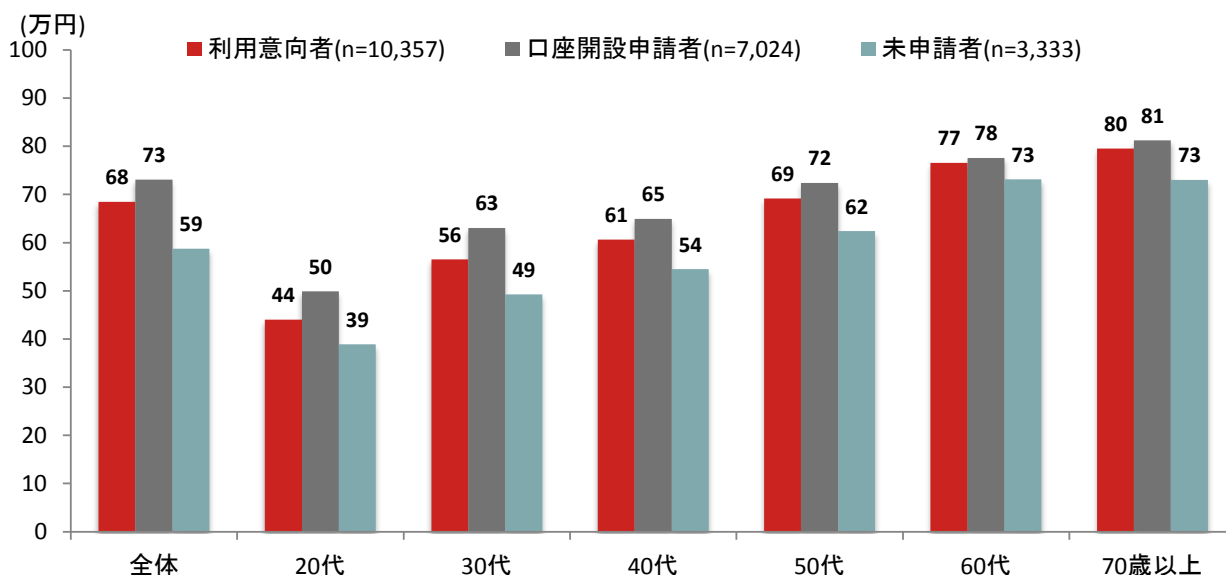


投資意向額

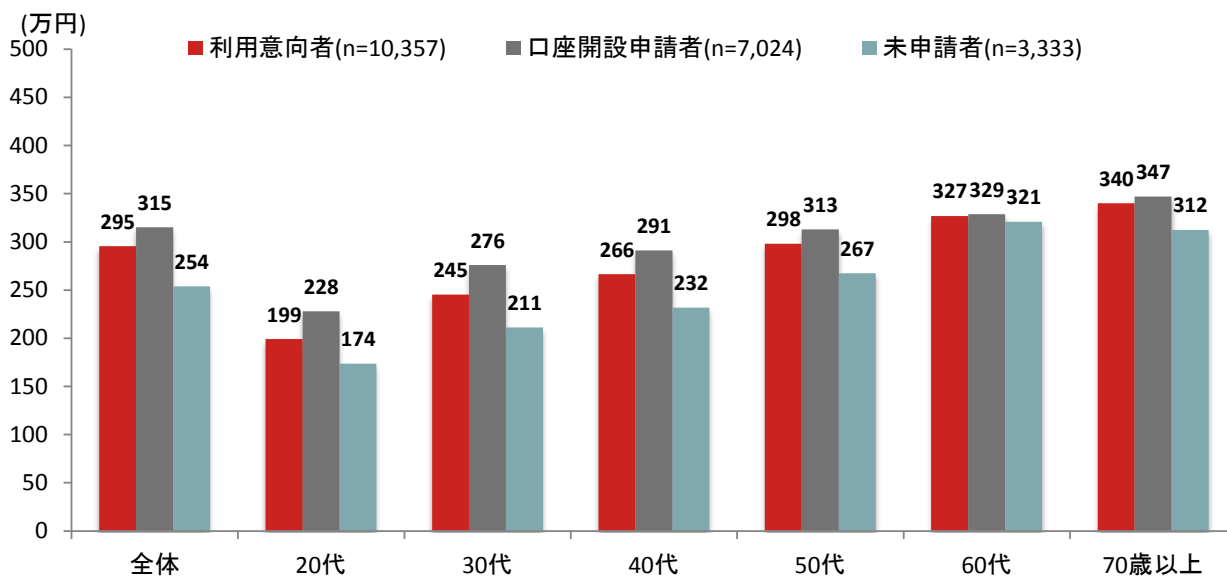
100万円の年間投資限度額に対して、NISA口座開設申請者の投資意向額は、初年度73万円、5年間累計で315万円であった。一方、利用意向者の口座未申請者では、初年度59万円、5年間累計は312万円で、投資意向額の大きさが口座開設申請に反映されているといえる。年代が上がるほど投資意向額が上昇する傾向がある。

Q) NISAについて、投資意向額をお知らせください。なお、投資額の上限は、年間100万円とし、その5年分である500万円までとなっています。(n=40,000)

【 初年度(2014年)投資意向額 】



【 5年間累計投資意向額 】

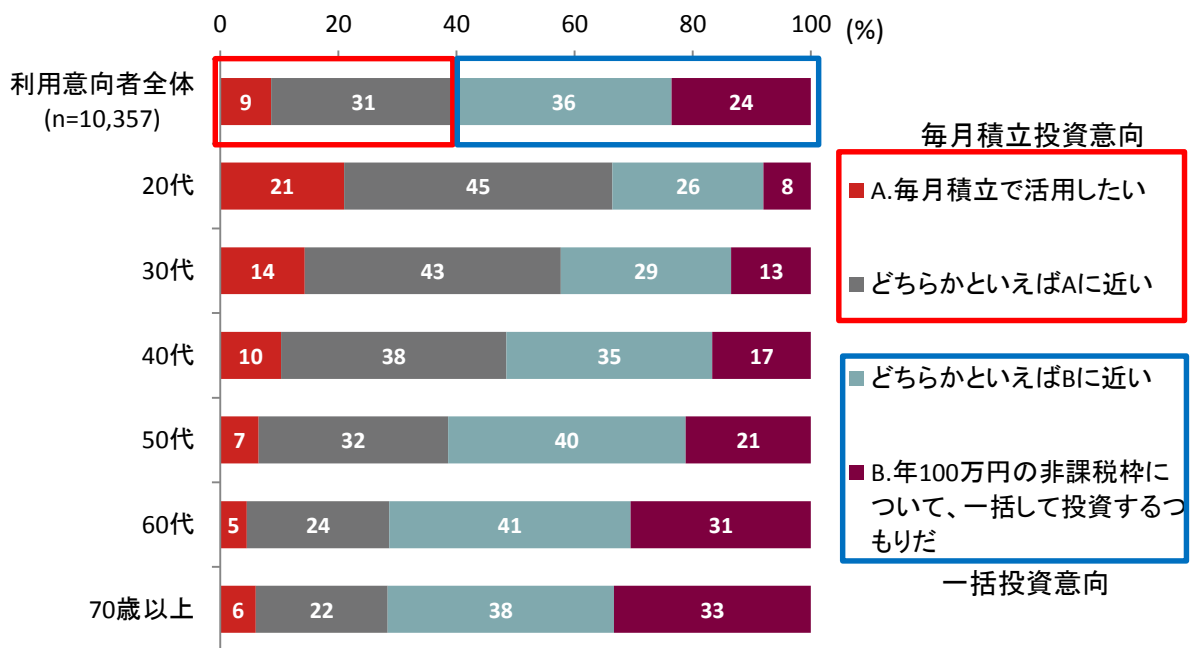


毎月積立投資の意向

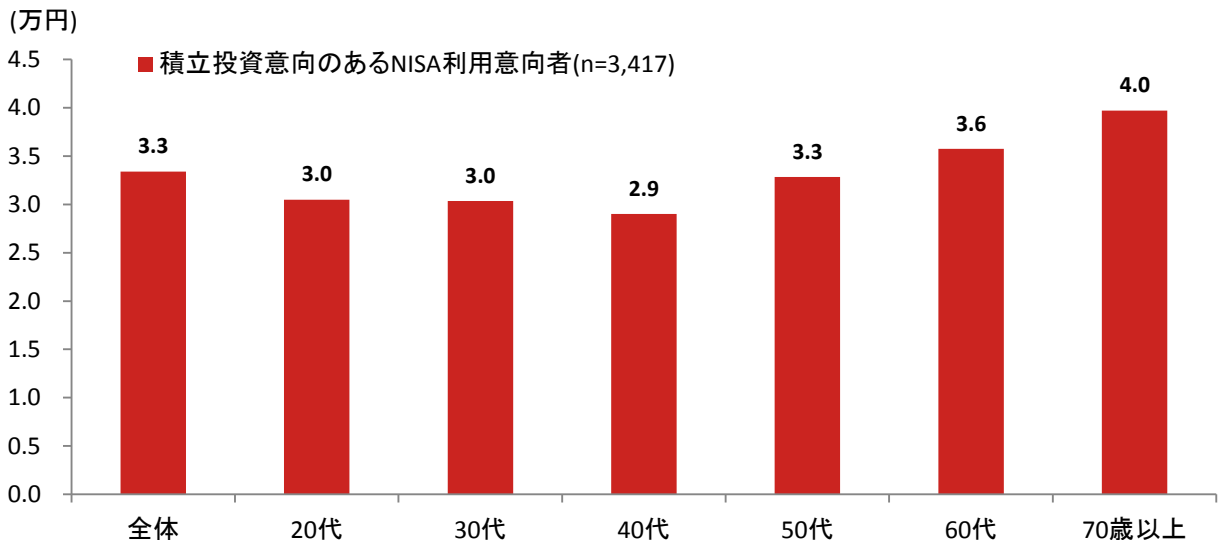
NISA口座で、毎月積立投資を意向している割合は4割である。年代別にみると、20代・30代では6割～7割程度と高い一方、シニア層では一括投資が7割を占めている。資産形成層のNISA利用の拡大に応じて、毎月積立投資が広がる可能性もある。NISAの利用意向者で積立投資意向者の毎月の投資意向額は3万円程度であった。

Q) NISAについて、あなたはどのように使いたいと考えますか。(n=40,000)

【NISA口座における毎月積立投資と一括投資の意向】



【NISA利用意向者で積立投資意向者の毎月投資意向額】



【調査概要】

■調査目的

NISAや投資信託について、幅広い層での認知や利用意向等を聴取し、投資家の意識を把握すること。

■調査対象・サンプル数

40,000サンプル：20歳以上の男女（調査会社マクロミルに登録しているモニター）から4万サンプルを対象に調査を実施。NISAに関する認知や利用意向、保有金融資産額や投資信託を含む金融資産の保有状況などを調査。なおサンプルについて、平成22年度国勢調査の性別年代別構成比に合わせ、ウエイトバックというサンプル数補正をおこなった上で集計処理を行っている。

【性年代別サンプル数】

20代			30代			40代		
男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
2,844	2,753	5,597	3,802	3,694	7,496	3,511	3,457	6,968

50代			60代			70歳以上			合計		
男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計
3,393	3,435	6,828	3,718	3,956	7,674	2,446	2,991	5,437	19,714	20,286	40,000

■調査地域

全国（インターネット調査）

■調査時期

2014年2月3日（月）～2月13日（木）

■調査実施機関

株式会社マクロミル

※ 過去の調査結果については、野村アセットマネジメントのNISA情報サイトに掲載しています。

URL：<http://www.nomura-am.co.jp/nisa/report/>

以上